



「Catch Ball キャッチボール」

～地域に開かれた農場を目指して～

住 所：〒014-0054 大仙市大曲金谷町 26-9

電話番号：0187-63-2257 FAX:0187-62-3434(大嶋農場:FAX 兼用 0187-68-2381)

U R L：http://www.daino-h.akita-pref.ed.jp

*農場だよりに関するお問い合わせは農場経営部までご連絡下さい。

◆農場長(高橋寿徳)より

「充実した高校生活100%」 ～伝えよう! 農業高校の楽しさを～

さまざまな思いを胸に学舎を巣立っていく、卒業式のシーズンが今年も訪れました。本校の卒業式は3月3日に挙行されます。先日、3年生(本校148名)の离校日に農業高校で学んだ印象をどのように捉えているかアンケート形式で質問に答えてもらいました。その結果、「充実した高校生活を送ることができたか」の問いかけに100%の生徒が「充実した(楽しかった)高校生活だった」との回答でした(まあまあ充実含む)。自由記述では「実習と座学があり分かりやすかった」「さまざまな地域交流をとおして人と話をすることが好きになった」「女性として必要なことを身につけられた。楽しかった」「大人になったときに必要なことをたくさん学ぶことができた」「命、生きることの大切さ、先生や友達、地域の皆さんのあたたかさを実感した」など、農業高校で学んで得られたことをたくさん記載していました。

農業高校生だからできること、農業高校生だから感じ取れることがたくさんあると思います。伝えていきましょう! 農業高校の楽しさを……。

水田部門

(担当者: 藤井亨、高橋寿徳、佐々木尚人、黒田一久)

これまで種まきの準備として、床土の肥料・農薬配合や育苗箱の用意を進めてきましたが、例年よりも早く完了しました。今後はプール育苗ハウスの除雪や種籾の準備に入ります。

なお、現在使用している木造の農舎や車庫は来年度の収穫後に解体となる予定となっており、改築に伴う物品の整理や移動も少しずつ進めています。

小家畜部門

(担当者: 田口健一、佐藤晴輝)

3月下旬に新しいひなを200羽導入します。ふ化してから150日ほど経過したひなです。ニワトリは一般的に150日齢で産卵を開始し、「成鶏」と呼ばれるようになります。しかし、産卵開始初期は卵が小さすぎて商品にならない場合もあります。4月下旬から5月の中旬頃には、商品として出せるようになると思います。本校の鶏卵は、週末に農業科学館で販売しておりますので、購入してご賞味ください。

中家畜部門

(担当者: 守屋拓、小林和成)

8月下旬生まれの豚たち14頭が、早苗振り用豚2頭を残し、2月18日に旅立ちました。出荷された豚は、秋田県食肉流通公社でと畜・解体・スライスされ、秋田県内に流通します。

皆さんの食卓に上がる日が来るかもしれませんね。



大家畜部門

(担当者: 佐々木惇、佐藤晴輝、佐々木尚人)

母牛3頭(さくらこ・だいのうなぎさ・まさみ)は、現在妊娠中。新年度になったら、牛舎に遊びに来てください。

== 第8回全国モーモー母ちゃんの集い in あきた ==

7月6日(月)・7日(火)由利本荘市のあきた総合家畜市場で開催。畜産業の良さを感じ、農業への意識向上の一助として、農業高校生へ案内がきました。参加希望者は、3月20日(金)までに大家畜担当の佐々木へ連絡ください。

林業部門

(担当者: 照内之尋、三浦薫、守屋拓)

皆さんは日本の天然三大美林を知っていますか。木曽ヒノキ(長野県)、青森ヒバ(青森県)、そして本県の秋田スギです。いずれも古くから良質の材として利用されてきました。数多くのスギの中で、なぜ秋田スギが三大美林として扱われているのでしょうか?秋田スギは年輪幅がそろっている、木目が細かく強度に優れていて狂いが少ない、優美な色と香りがする等、多くの優れた特徴を持っているからです。古くから住宅用の建築材として利用され、特に美しい柾目を利用した高級内装材、天井板等に使用されています。また、古くから「曲げわっぱ」や「桶・樽」などの原材料として伝統工芸品としても利用されています。秋田県の一つの自慢ですね。

果樹部門

(担当者: 佐々木孝之、佐藤農)

12月からの豪雪で新芽がウサギに食害されていましたが、1月後半からの寒の緩みで積雪が減り、食害も減り始めました。果樹の冬期間の作業は整枝・せん定作業です。穏やかな天候のもと、せん定作業も順調に進み、あとはモモを残すだけとなりました。この写真はブルドーザーで押し上げられた排雪の山からの一枚です。今年も雪は多かったことを実感できます。

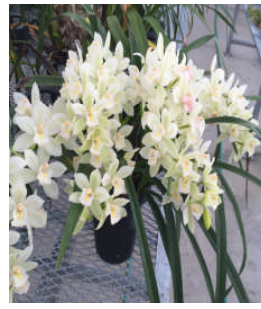


生物工学 部門 (担当者：平塚祥広、大沼克彦、照井豊和、佐藤潤之介)

温室では現在洋ランの開花期を迎えています。珍しいランもありますのでちょっと紹介します。



「デネマポリブルボン」
小さな花を咲かせる匍匐枝が特徴。
寒さに強く管理もとても楽です。
育てやすく、肥料もあまり必要
としませんのでおススメです。



「下垂シンビジウム」
シンビジウムの下垂タイプ。
通常は花茎を立たせますが、
しだれ桜のように仕立てます。
市場では高値で取引されます。



「セロジネ」
寒さに強く、繁殖力旺盛です。
香り豊かで、バニラ臭がします。
特に細かな管理を必要とせず、比
較的初心者でも毎年咲かせること
ができます。



「パフィオ・ペディラム」
大きな唇弁（あご）が特徴。
品種によってはビックリす
る位の値段で取引されます。
とても優雅で大型の立姿で
多くのファンが存在します。

その他にも多くの種類が開期を迎えています。興味のある方はぜひ温室へお越しください。

食品加工 部門 (担当者：伊藤寿人、三嶋登忍)

日本初の機内食は肉のくん製品？

1929年8月に、ドイツの飛行船が日本を訪れましたが、次の目的地ロサンゼルスまでの機内食をどのように調達するかという問題を抱えていました。当時の飛行船の浮力材は水素のため、機内では火気は一切使えませんでした。そこでハムやソーセージなどの良質のくん製品が取り入れられたメニューが、提供されたそうです。

大農のベーコンは希少品？

秋田県産上品豚肉の特上バラ肉を使用しています。豚半丸枝肉を切断～骨抜き～部分肉選別後、秘伝のスパイスと製法で製品化されます。厳寒期の1月下旬から2月上旬だけの限定製品となっており、卒業生からは“幻のベーコン”とも呼ばれているようです。



(くん煙が完了し、裁断前のバラ肉)



(真空包装され、食品表示添付中の製品)

野菜 部門 (担当者：古戸毅、小松万里子、富樫久雄)

野菜部門では本年度最後の野菜となるハウレンソウを栽培しました。品種は多収性でべと病に強い「トラッド7(セブン)」です。種子は誤用や劣化等を防ぐため青色にコーティングされています。昨年の9月に種を播き、11月より収穫、販売を始めました。ハウス内に暖房を施さない“寒締め”により甘味が増し、葉身が厚く葉柄も太くなるため食べ応えも十分です。1袋の量が多いこともあり、販売するとすぐに売り切れました。ハウレンソウはアブラナ科ではなく、アカザ科に属する葉菜類です。来年も楽しみにして下さい。ポパイが戦う時のパワー源(ハウレンソウの缶詰)となった理由は、ハウレンソウなど野菜嫌いの子供をなくすためのアメリカ国家の戦略だったことを知っていますか？



(青色にコーティング)



(ハウス内は8℃)



(厚い葉身、太い葉柄)

花卉 部門 (担当者：和泉有紗、山代和也)

草花温室では、卒業式を色とりどりに飾ってくれる、たくさんの「サイネリア」が今か今かと出番を待ち望んでいます。サイネリアは別名「富貴菊(ふうきぎく)」といいます。葉が薔(ふき)のようであるところから、ふき→ふうきというように「富貴」の字があてられたといわれています。

ちなみに、サイネリアの花言葉は「いつも快活」「喜び」です。大農を旅立つ3年生も、これからの大農を担う1・2年生も、4月からの生活が「いつも快活」で「喜び」に満ちたものになるよう願っております。

